学校番号	1004

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(学)発展英語構文・語法	2	2	旺文社 リンゲージ英語構文 100

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文法や構文の定着と、読解力の養成をはかります。
１年で学習した構文や熟語、文法事項を意識しながら、発展的な英文の正確な読み取りができるように練習しましょう。
内容の Retelling や Listening 活動も授業に取り入れ、話す、聞く力も含めた総合的な英語力の養成を目指します。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・様々な事物や写真の紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点をとらえることができるなど。	・エッセイや物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができるなど。	・読んだ内容を中心に、学んだことや経験したことに基づいて、考えなどを話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・相手の話す内容を理解できない場合に、必 要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。	・事実に基づいて意見などを話すことができるなど。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、 自分の考えや気持ち等を、簡単な語句や文 を用いて短く話すこと ができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができるなど。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる発展的な技能を身に付けている	・目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して十分に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を学ぶ態度が備わっている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	第一章 文型	聞くこと	a: 英語の音声の基本的な特徴を理解している。 b: 重要語句をまとまりとして聞き取っている。 c: 音声のまとまりが聞き取れる。	リスニングテスト
		読むこと	a: ５文型を意識して意味をとる b: 句や節のはたらきを十分に理解し、複雑な英文を読解することができる。 c: 長文を読み、日常生活や社会的な話題、外国の文化について理解しようとしている。	定期考査
		話すこと	a: ５文型を意識してパートナーと練習できる。 b: 状況に応じて適切な人称、時制で話せる c: 情報を整理して伝えようとしている。	授業中のペアワーク
		書くこと	a: ５文型を意識して文章が書ける。 b: あたえられた問に対して重要構文を使って文が書ける。 c: 自分自身の考えや経験を英文で表そうとしている。	ライティング課題
	中間考査			
	第二章 動詞周辺	聞くこと	a: 英語の音声の基本的な特徴を理解している。 b: 重要語句をまとまりとして聞き取っている。 c: 意味のまとまりと音声のまとまりの関係がわかる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 句や節の働きを理解し、修飾関係を意識しながら、意味を正確にとる b: that 節のはたらきを十分に理解し、複雑な英文を読解することができる c: 長文を読み日常生活や外国の文化について理解しようとしている。	定期考査
		話すこと	a: 語句の修飾関係を意識してパートナーと練習できる。 b: 適切な人称、時制を意識しながら副詞節を使った発話ができる。 c: 情報を整理して伝えようとしている。	授業中のペアワーク
		書くこと	a: 語句が正しく修飾されている文が書ける b: あたえられた問に対して重要構文を使って文が書ける。 c: 自分自身の考えや経験が人によく伝わるように文を書こうとしている。	ライティング課題
	期末考査			
2学期	第三章 準動詞	聞くこと	a: 英語の音声の基本的な特徴を理解している。 b: 重要語句をまとまりとして聞き取っている。 c: 音声のまとまりから意味のまとまりを聞き分けることができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 関係詞の働きを意識して文の意味を正確にとる b: 非制限用法の関係詞を十分に理解し、複雑な英文を読解することができる c: 長文を読み、論理的に理解しようとしている	定期考査
		話すこと	a: 複文を使ってパートナーと練習できる。 b: 適切な人称、時制を意識しながら関係詞を使った発話ができる。 c: 情報を整理して伝える。	授業中のペアワーク
		書くこと	a: 適切な接続詞を使った複文が書ける b: あたえられた問に対して重要構文を使って文が書ける。 c: 自分自身の考えや経験を踏まえ、論理的な文を書こうとしている。	ライティング課題
	中間考査			
	第四章 節	聞くこと	a: 英語の音声の特徴を理解している。 b: 重要語句をまとまりとして聞き取っている。 c: 重要構文の伝える情報を聞き取ろうとしている。:	リスニングテスト
		読むこと	a: 省略の表現や it を用いた構文について理解している。 b: 省略の表現や it を用いた構文が含まれる複雑な長文を読んで文章を正確に理解できる。 c: 長文を論理的に理解し、筆者の意図を十分に捉えることができる。	定期考査
		話すこと	a: 比較表現、関係詞、仮定法を使った文をパートナーと練習できる。 b: 自分自身のことを、比較表現や関係詞、仮定法を使ってパートナーと話し合える。	授業中のペアワーク

			c: 比較表現や関係詞、仮定法を使ってまとまった文章を話そうとしている。	
		書くこと	a: 比較の重要表現、関係詞、仮定法の用法・意味を理解している。 b: 与えられた問に対して重要構文を使いまとまった文章が書ける。 c: 自分自身の考えや経験を踏まえ、論理的な文を書こうとしている。	ライティング課題
	期末考査			
3学期	第5章 その他の構文	聞くこと	a: 英語の音声の特徴を理解している。 b: 重要語句をまとまりとして聞き取り、全体の理解につなげられる。 c: 重要構文を使った文の伝える情報を正確に聞き取れる。:	ディクテーションテスト
		読むこと	a: 分詞の表現や否定、強調・倒置・省略、無生物主語について理解している。 b: 日本の文化や日常生活について述べた重要構文を含む複雑な長文を読んで意味を理解している。 c: 長文を論理的に理解し、筆者の意図を十分にくみ取ることができる。	定期考査
		話すこと	a: 否定の重要表現、強調・倒置・省略、無生物主語を使ってパートナーと練習できる。 b: 自分自身や友人のことを否定の重要表現、強調・倒置・省略、無生物主語を使ってパートナーと話し合える。 c: 否定の重要表現、強調・倒置・省略、無生物主語を使ってまとまった文章を話そうとしている。	ライティング課題の発表
		書くこと	a: 否定の重要表現、強調・倒置・省略、無生物主語について理解している。 b: 与えられた問に対して重要構文を使いまとまった文章を書ける。 c: 自分自身の考えや経験を踏まえ、まとまりのある論理的な文を書こうとしている。	ライティング課題
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度